

## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

国立大学法人豊橋技術科学大学

法人番号：48

学部・研究科等番号・名称：01・工学部、工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 〔判定〕</p> <p><b>【原文】</b> 〔判定〕 <u>相応の質にある</u></p> <p><b>【申立内容】</b> 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p><b>【修正文案】</b> 〔判定〕 <u>高い質にある</u></p> <p><b>【理由】</b> 現況調査表に記載したとおり、第3期中期目標期間においては、前期（第2期中期目標期間）と比べ、研究活動の質が向上しているとともに、全国と比較しても良好な状況にある。</p> <p>以下、本法人の状況については、現況調査表の記載から、全国の状況については、データ分析集（工学系）（2016～2018実績）から抜粋する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員あたり共同研究受入金額（国内・外国企業のみ）（指標34） （前期平均809千円→第3期平均1,519千円／工学系平均925千円）</li> <li>・教員あたり民間研究資金の金額（指標46） （前期平均1,635千円→第3期平均2,387千円／工学系平均1,411千円）</li> <li>・教員あたりライセンス契約数（指標43） （前期平均0.11→第3期平均0.36／工学系</li> </ul>	<p><b>【対応】</b> 原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b> 現況調査表等を総合的に勘案し、「相応の質にある」と判定した。</p>

<p>平均0.283)</p> <p>その他，本法人による定義，文部科学省調査（産学連携等実施状況）による定義等により，研究活動の質が向上している事例，又は全国と比較して良好な状況にある事例について，現況調査表より抜粋する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人教員割合 (前期2.9%(7人)→2019年度6.4%(14人))</li> <li>・女性教員割合 (前期5.8%(14人)→2019年度11.5%(25人))</li> <li>・科研費若手種目の採択率 (前期38.5%→2019年度48.0%/全国平均40%)</li> <li>・研究者1人あたりの共同研究費受入額 (2018年度1,627千円，国立大学法人3位)</li> <li>・特許権実施等件数 (2018年度128件，国立大学法人20位)</li> <li>・実施許諾中の特許件数割合 (2018年度23.3%件，国立大学法人12位)</li> <li>・研究者1人当たりの特許権実施等収入 (2018年度35千円，国立大学法人11位)</li> <li>・共同研究受入額 (前期349百万円→2019年度583百万円)</li> <li>・国際共著論文率 (前期平均21.9%→第3期平均28.1%)</li> </ul>	
---	--